

生活産業常任委員会

平成19年10月10日に愛知県岡崎市、11日に兵庫県姫路市を視察しました。

岡崎市では「鳥獣害対策の取り組み」について視察しました。岡崎市は合併により編入した山間地域で特に猪被害が多く、市は主に電気柵の設置への補助や捕獲用柵の製作材料費への助成を行っており、設置箇所での猪被害は少なくなるなどの成果はあるものの、全体的な被害把握は難しい現状のようです。猿は有害鳥獣ではありませんが、家屋への侵入被害があるほか、農林被害を減らす目的で申請による駆除が行われていました。

姫路市では、「市民の安全安心推進事業」の取り組みについて研修しました。



姫路市が所有している安全安心パトロールカーを見学

姫路市は、全国に先駆けて安全で安心な地域社会の実現を目的とした条例を平成13年に制定しており、本市での条例制定を視野に入れての研修を行いました。

特徴的な取り組みとして、安心して子どもたちが通学できるよう、自治会、事業所や市内大学の全学部生による「まちづくりサポーター制度」を設け、登下校時の児童を毎日見守ること。自治会毎に配置した「青色回転灯パトロールカー」を活用しての地域巡回などを行っており、自分達のまちを自分で守る意識が高くなるなどの成果が上がっていました。

文教福祉常任委員会

平成19年10月24日に福岡県須恵町、25日に山口県下関市を視察しました。

24日は、認定こども園についての視察を行いました。町立の幼稚園、保育園が文教ゾーンに小学校を含めて形成されています。2つの施設を0歳から3歳児、4歳から5歳児に区分し、3歳から5歳児は、幼稚園児と保育園児を混合で教育を実施。1日12時間、月曜から土曜日まで開園し、9時から15時までは幼稚園機能による教育カリキュラムを行い、7時から9時、15時から19時で保育機能を果たすという形態で幼保一元化がなされていました。



須恵町「認定こども園」にて幼保一元化の状況を視察

25日は、保原小学校建設を控える本市として、夢が丘中学校・豊北中学校の計画から現在の利用状況について視察しました。両校とも、下関市との合併を機に統合を経て、建設に至っています。学校施設は明るく開放的な空間で、生徒たちの満足度は高いと感じました。開かれた学校として、地域との交流に力を注いでおり、生涯学習の拠点として、また図書スペース・ラウンジの一般開放を常に行い、地域住民が先生として参加する授業を設けるなど、学校と地域の連携が、実現されていました。